



身ぶり手ぶりで気持ちを伝える



赤石太鼓の披露



書道の授業ではお互いの名前を書いた

光臨!

川根本町へ～

台湾 雲林県
ヤンズー
私立揚子高級中学校

5月27日、台湾の雲林県にある私立揚子高級中学校(日本における高校に相当)の生徒30人が、国際教育旅行の一環として1泊2日の旅程で本町を訪れました。

川高生と授業で交流を深める

まず最初に訪れたのは、川根高校。郷土芸能部による勇壮な赤石太鼓の演奏で体育館に迎え入れられ、歓迎式典が始まりました。式典では、川高生が英語で町の特徴や高校生活の様子を紹介しました。

午後からは、体育・音楽・美術・書道の選択科目に分かれて、川高生と一緒に授業を受けました。言葉の壁に苦戦しつつも、ジェスチャーや表情で意思疎通を試みたり、積極的に声を掛けたりする川高生の姿が見られました。

再び体育館に集まった両校の生徒は、折り鶴づくりに挑戦。川高生に折り方を教わり、協力して千羽鶴を作りました。



英語で川根本町を紹介



音楽の授業の様子



一緒に折り鶴づくり



茶娘衣装の着付けを手伝ってもらう



グラウンドゴルフを体験



夕食はみんなでバーベキュー

民泊で、この町らしいおもてなし

川高生に別れを告げた生徒たちは、町内7世帯のお宅に分かれてホームステイしました。それぞれのホームステイ先では、おにぎりづくりやバーベキューなどの夕食を楽しみました。

翌28日の朝は、全体集合までの短い時間を使って、ホストファミリーや近所の方と思い思いに交流を深めました。グラウンドゴルフで盛り上がったたり、茶娘衣装を着てお茶摘みを体験したりするなどして満喫しました。

そして、いよいよ出発の時間に。涙を流し、抱き合い、手紙のやりとりを約束し、再会を誓いました。生徒たちは、いつまでもバスの窓から手を振り続けていました。

短い旅程ながら、この町ならではの温かいおもてなしを体験した揚子高級中学校の生徒たち。今後の継続的な交流が期待されます。

歓迎

～ようこそ

5.27-28



涙で再会を約束



連絡先を交換

再見!
(またね!)

